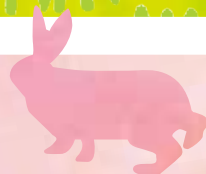




順調に成長している
ホッキョクグマの子（3／20撮影）



動物園 からわ
手紙 
[382通目]

今年で55回目の夏期開園を迎えます

新しい年度が始まりました。人の移動が多い時期ですが、動物園でも動物たちの移動が春と秋に多くなります。夏は高温による動物の健康へのリスク、冬は雪などで輸送スケジュールが遅れるリスクが高くなるからです。4月になっても旭川には残雪があり、まだ寒いのですが、道民の感覚では、本州以南は、あつという間に初夏のような暑さになってしまっています。

この手紙を書いているのは3月中旬。えぞひぐま館は、雪が降り積もる昨年の暮れに完成したので、雪解け後には放飼場の土が沈んでおり、あれこれ手を掛けなければならぬことが出てきます。今は魚がすめる水作りを精を出しています。完成後、溪流の水の循環をすぐに開始。システムや濾過の状態の確認、擬岩に覆われているコンクリートやモルタルのあく抜き、水温や水質などのチェックを継続し、ある程度安定した水

ができてきました。先日、少数の魚を入れたところ、元気もあり手応えを感じました。こころは、ヒグマ（とんこ）の餌としてではなく、プチ淡水魚水族館のように、ヒグマと魚の共存型飼育展示を目指しています。ただ水が流れているだけではなく、生き物の気配を感じる水があることで、とんこにもヒグマらしさが目覚める良い刺激になると考えています。来園者は水中の魚を見て、ふと見上げるとヒグマがいる。どうですか？ちょっと感動的ではないですか！

もう1つ、ホッキョクグマの子も順調に成長しています。生後100日を超え、本来なら巣穴から出て来ても良い大きさになりました。現在は産室から母親と一緒に寝室側にも頻繁に出て来て、母親とじゃれ合い、走り回り、固形物も食べ始めています。伸び伸びと運動させるためにも、そろそろ放飼場に出す練習をしなければいけないほどの成長です。

今年、旭山動物園は55回目の夏期開園を迎えます。充実した年を皆様と共に過ごしたいと願います。

旭山ピックアップ

4/
29(金)

9年ぶりの大型施設

えぞひぐま館がオープン

屋外と屋内、様々な角度から日本最大の陸上哺乳類を観察できます。屋外にはエゾヤマザクラやミズナラといった樹木や柱状節理の崖、魚が泳ぐ溪流や滝があり、知床での生息環境を再現。エゾヒグマと人間の共生を考える施設です。



開園日・時間

休園＝4／28(木)まで

夏期開園＝期間中は無休

● 4／29(金)～10／15(土)

9：30～17：15

● 10／16(日)～11／3(木)

9：30～16：30

※いずれも入園は16：00まで。

市民特別入園料＝700円（中学生以下、70歳以上の方は無料。運転免許証・学生証等の提示が必要）

※免除制度などは問い合わせを。

動物園パスポート＝1,400円

科学館共通パスポート＝2,230円

※園内各門などで販売中。

旭山動物園を
もっと楽しむ

園内
イベント

詳細は決まり次第、
同園HPに掲載

【詳細】旭山動物園
(東旭川町倉沼
☎36・1104)

